令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	交通安全対策事業				コード	02100100-0101	
中事業名	交通安全対策事業				計画区分	①	
担当部等	都市整備部		担当課等	道路建設課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	02	安全・安心を高める		会計	1	一般会計	
基本施策	10	交通安全・防犯・消費者行政		款	08	土木費	
主要施策	01	地域における交通安全対策の推進		項	02	道路橋梁費	
				目	02	交通安全施設費	
				大	01	交通安全対策事業	
				中	01	交通安全対策事業	
根拠法令・条例等	道路法、河川法						
基本計画等	通学路交通安全プログラム整備計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	各種交通安全施設の適正な整備及び維持管理を行い、道路利用者の安全性、快適性を確保する。
対象	道路、道路付属物等
意図（目的）	道路利用者の安全性、快適性を確保する。
手段	道路面のカラー塗装、ガードレール等の設置・修繕

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			19,204	14,263	14,593	13,535	13,000	12,450	13,000
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	2,450
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		19,204	14,263	14,593	13,535	13,000	12,450	10,550

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	各区からの要望や通学路交通安全プログラムにより、交通安全対策の必要性の高い箇所の抽出を行い交通安全対策を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	歩道や自転車道に対する市民の要望が多いことから、歩道・自転車道の整備について検討を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	各区の要望を受け、その優先度・緊急度を検討し必要な交通安全施設の設置を行った。また、日進市通学路交通安全プログラムでは日進中学校区のカラー塗装等の安全施設の設置を行った。通学路における合同点検では市内の全小中学校区で、危険個所を関係機関と伴に安全対策を検討し、その結果を基に、路肩のカラー塗装等安全施設設置を行った。

成果	道路利用者の安全確保や通学路の安全対策を行うことができた。
課題	現在カラー塗装等対策を実施している箇所について、修繕のタイミングと合わせて対策効果を再検証し必要な対策を実施する必要がある。また、市民から要望のある歩道や自転車道の整備について検討を行う必要もある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	本年度は日進市通学路交通安全プログラムに加えて、通学路における合同点検に基づく対策を実施した。昨年度と比較して市内の多くの危険箇所の対策を実施することができた。交通安全対策事業は市民が安全に暮らす上で重要かつ必要な事業であり、今後も継続して行う必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	各区からの要望や通学路交通安全プログラム等により、安全対策の必要性の高い箇所の抽出を行い、適切な交通安全対策を行う。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	歩道や自転車道に対する市民の要望があることから、歩道や自転車道の整備について、路肩のカラー塗装だけではなく対策を検討する。市民からの要望箇所及び危険個所の洗い出しについても検討する。				

【アウトプット指標】

指標名	工事実施率						単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	60.00	38.46	60.00	18.90	60.00	60.70	60.00	

【アウトカム指標】

指標名	日進市市民意識調査（満足度：交通安全）						単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	35.00	33.80	35.00	35.50	35.00	35.50	36.00	
式	日進市市民意識調査（満足度：交通安全）							
指標の狙い	市民満足度を指標とすることで、事業効果が分かりやすい指標とした。							

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	道路整備事業				コード	03110200-0102	
中事業名	道路改良事業				計画区分	①	
担当部等	都市整備部		担当課等	道路建設課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計	
基本施策	11	道路		款	08	土木費	
主要施策	02	生活道路の整備		項	02	道路橋梁費	
				目	03	道路整備事業費	
				大	01	道路整備事業	
				中	02	道路改良事業	
根拠法令・条例等	都市計画法、道路法						
基本計画等	―						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	道路利用者の安全性、快適性を確保するために、道路の適切な維持管理を行う。
対象	道路
意図（目的）	道路利用者の安全性、快適性を確保する。
手段	舗装修繕等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			109,001	95,290	109,001	103,444	101,250	93,786	83,750
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	759	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		109,001	95,290	109,001	102,685	101,250	93,786	83,750

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	限られた予算の中で、市民の満足度をより高めるために、各区と調整を図りながら優先度・緊急度等を精査し事業を行っていく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	単年度で対応できない要望に対し、計画を立てて複数年で実施していく必要がある。

令和 3年度に取り組んだこと	各区から提出された土木事業施工要望に対して、各区と優先度、緊急度等を検討し調整した結果、委託２件と工事１３件を発注して道路の改修や整備を行った。

成果	各区から道路の破損や老朽化等による舗装等の整備要望に対し、舗装整備等を実施し道路の安全性・快適性を確保した。
課題	各区等からの要望について複数年での対応が必要など、複雑或いは広範囲な要望が増えており、計画的な対応が必要となっている。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	工事・業務を行うための調整等で難易度が高かったり、民地協力が必要となった要望があったが、各行政区と調整を図りながら必要な工事は実施することができたため、工事実施率は満たすことができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	現在住民からの強い要望のある、香久山中央通線の交差点渋滞について対策を検討していく。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	香久山中央通線については対策の完了までに複数年が必要と見込まれるため、計画を立てて実施していく。また、他の要望についても各区等と調整を図りながら、単年度で対応できない件に対しては、計画を立てて複数年で実施し、工事実施率を高めることを目指す。				

【アウトプット指標】

指標名	工事実施率						単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	40.00	38.89	40.00	25.90	40.00	50.00	50.00	

【アウトカム指標】

指標名	日進市市民意識調査（満足度：道路の維持管理）						単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
	35.00	31.90	35.00	32.50	35.00	32.50	35.00	
式	日進市市民意識調査（満足度：道路の維持管理）							
指標の狙い	市民満足度を指標とすることで、事業効果が分かりやすい指標とした。							

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	道路整備事業				コード	03110300-0103	
中事業名	道路長寿命化事業				計画区分	①	
担当部等	都市整備部		担当課等	道路建設課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計	
基本施策	11	道路		款	08	土木費	
主要施策	03	道路・橋梁の適正な維持管理・長寿命化		項	02	道路橋梁費	
				目	03	道路整備事業費	
				大	01	道路整備事業	
				中	03	道路長寿命化事業	
根拠法令・条例等	道路法、河川法						
基本計画等	橋梁長寿命化修繕計画、横断歩道橋修繕計画、折戸高松線始め12路線舗装修繕計画等						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	従来の事後的な修繕から予防的な修繕へ転換し、道路や橋梁等を計画的に修繕するために、定期点検結果に基づいた修繕計画を策定したうえで、計画的に修繕工事を行うものである。
対象	道路、橋梁等
意図（目的）	道路利用者等の安全性を確保する。
手段	定期点検による既存道路施設の健全度を把握したうえで、適切な管理を実施する。

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			82,592	73,509	22,000	20,758	39,544	18,893	58,500
財源内訳	特定財源	国庫支出金	24,993	19,213	5,678	16,173	4,004	3,704	13,230
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		57,599	54,296	16,322	4,585	35,540	15,189	45,270

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	令和2年度の橋梁点検結果を基に修繕計画の見直しを行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	道路メンテナンス補助制度の新設により、従来の社会資本整備総合交付金から引き続き補助を受けるために長寿命化計画の修正を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	長寿命化計画に基づき、３６橋の橋梁点検を行った。

成果	橋梁点検を実施したことで、今後、長寿命化計画の見直しのための基礎資料となる橋梁の健全度を把握することができた。
課題	橋梁等各施設のライフサイクルコストを縮減するためには、現在の事後保全の対応から予防保全へとシフトさせる事が必要である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	日進市長寿命化修繕計画に基づき、点検を行うことができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	令和３年度までの点検結果を基に橋梁、横断歩道橋、大型ＢＯＸ及び、舗装の修繕計画の見直しを行う。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	道路施設の長寿命化においてライフサイクルコスト縮減を図るため、点検の結果を基に、予防保全の補修工事を計画的に行っていく。また、必要な予算を安定的に確保するため、基金の運用、補助金の確保などの方法を検討する。				

【アウトプット指標】

指標名	橋梁等点検数						単位	橋
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度			R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標
	22.00	22.00	29.00	29.00	36.00	36.00		1.00

【アウトカム指標】

指標名	日進市市民意識調査（満足度：道路の維持管理）						単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度			R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績		目標
	35.00	31.90	35.00	32.50	35.00	32.50		35.00
式	日進市市民意識調査（満足度：道路の維持管理）							
指標の狙い	市民満足度を指標とすることで、事業効果が分かりやすい指標とした。							

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	河川排水路整備事業				コード	03190100-0101	
中事業名	河川排水路整備事業				計画区分	①	
担当部等	都市整備部		担当課等	道路建設課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	19	河川・排水路		款	08	土木費
	主要施策	01	河川・排水路等の整備及び維持管理		項	03	河川費
					目	02	河川整備事業費
					大	01	河川排水路整備事業
					中	01	河川排水路整備事業
根拠法令・条例等	道路法、河川法						
基本計画等	－						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	円滑に雨水排水処理ができるよう、排水施設の整備を行うものである。
対象	河川、側溝、雨水管等
意図（目的）	側溝及び排水施設等破損箇所の修繕等を行う。
手段	排水施設整備

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			66,574	69,961	68,300	26,958	8,000	30,542	67,000
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		66,574	69,961	68,300	26,958	8,000	30,542	67,000

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	今年度は緊急性の高い豊田川護岸改修工事を優先的に行ったが、今後は土木事業施工要望の優先度、緊急性を精査し、各区と調整を図りながら事業を行っていく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	河川についても、建設後かなりの年数が経過しているため、長寿命化の検討を行っていく必要がある。

令和 3年度に取り組んだこと	豊田川の護岸崩壊の危険が生じた箇所に、緊急で護岸詳細設計及び護岸改修工事を行った。

成果	豊田川護岸を迅速に復旧したことで周辺への被害を防ぐとともに、道路利用者の安全も確保することができた。
課題	豊田川以外の河川についても、建設後かなりの年数が経過しているため、長寿命化の検討を行う必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	緊急度の高い豊田川の護岸復旧を行ったことで豊田川の安全性を保つことができた。また、各区より提出された要望を基に、優先度・緊急度の高い順に工事を行い一定の成果を上げることができた。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	豊田川について、前年度までに崩壊の危険性の高い箇所の護岸改修工事を行っており、本年度は、豊田川のその他の場所について点検を実施し修繕の必要な箇所を調査する。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	点検の結果を基に、修繕計画を整備し豊田川の長寿命化を図る。				

【アウトプット指標】

指標名	工事実施率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	40.00	21.43	40.00	37.50	40.00	88.80	50.00

【アウトカム指標】

指標名	日進市市民意識調査（満足度：近隣の側溝などの水はけ）					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	50.00	46.00	50.00	48.80	50.00	48.80	50.00
式	日進市市民意識調査（満足度：近隣の側溝などの水はけ）						
指標の狙い	市民満足度を指標とすることで、事業効果が分かりやすい指標とした。						